

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 ライラック

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			最低配置基準に加えて、職員を配置しています。必要に応じて個別対応しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			朝の会のリーダーの背景をシンプルな場所で行うなど集中して活動に取り組むことが出来る様に配慮しました。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の療育を、クラス会議やスーパービジョンを通してグループマネージャーと話し合いを持ち、業務の改善に努めています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに記載し、改善に取り組んでいます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週の朝研修に加え、法人研修、年代別研修、部門別研修等行っています。	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			事業所の職員で個々の支援目標を共有し、チームワークで支援を行いました。	

	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			季節や行事などに配慮しながら計画を立てています。		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			基本の一日の流れに加えて、季節や天候、年齢に応じた活動プログラムを設定しました。		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			個々の状況に応じて、個別活動を取り入れました。		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			リーダーサブリーダーアシストで役割分担して行っています。		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			情報共有をすることで、次の支援に繋がっています。		
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録に加えて、一日を振り返り、共有する事で支援の検証・改善に努めました。		
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に一回モニタリングを行いました。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○					
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				必要時に応じて、保護者との間に入り、移行先の児童発達支援事業と連絡調整を行いました。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				センター研修に参加しました。	
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○					
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				法人内担当職員が参加しました	

保護者への説明責任等	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者による送り迎え時、送迎時、また電話連絡やメール等で、情報共有しました。	母子通園等が難しい家庭には必要に応じて引き続き家庭訪問なども含めて行っていきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			グループカウンセリング、グループスタディの参加を促したり、親子発達支援を行いました。	
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援や電話連絡などを通して助言・支援を行いました。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			クリスマス会やひな祭会での保護者の出し物をするための保護者同士の連携を支援しました。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のクラスだよりを発行しました。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		雪かきなどを通して地域に貢献しました。	今年度は地域住民を招待する行事は行っていません。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			服薬管理が必要なお子さんに対して、ショートステイや看護師と連携しました。園医検診では、予防接種歴を確認しました。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			今年度はアレルギーのお子さんはいませんでした。必要な際は、医師の指示に基づき対応します。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人内で検討しています。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			週に1回アンガーマネジメントを行っています。年に1回研修を行っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			必要な際は、記録と個別支援計画に記載しています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。